

2) 成績表の保護者への送付

学部学生の成績表送付は、平成 12 年度(2000 年度)から開始した工学部独自の取り組みである。成績表送付により学生の成績を保護者に定期的に知らせることが教育上、重要であることの認識から、全学的取り組みとして要望しているが未だ具体化していない。保護者から多くの賛同がある上に、送付機会を増やす要望が多くなってきたため、工学部としては、本年度より成績送付を5月および11月の年2回実施することにした。

本年度の送付内容は、2～3 年生, 4 年生の卒研未着手者には、学部長挨拶状、工学部広報誌「かけはし」、自然科学研究科だより、成績通知表、単位修得に関する説明資料やアンケート調査等とし、入学直後の1年生の保護者及び休学者、4年生の卒研着手者には学部長挨拶状と工学部広報誌「かけはし」、自然科学研究科だよりを送付した。学生個人の単位取得状況に応じて、4種のコメントを付し、保護者に説明した。さらに、1 年生以外の保護者にはアンケート用紙による簡単な調査も行った。アンケート調査は昨年同様に成績表送付、広報誌「かけはし」、工学部に対する保護者の意見や要望等について自由に書いてもらうことにした。その結果、前後期合わせて76件の回答が寄せられた。大半は成績送付に関する肯定的な意見が多く、前後期ともに継続してほしい、他大学に比べて理解し易い、成績確定後より早期の送付を希望する等の意見が寄せられた。また、学生の進路や就職状況に関する情報開示、「マナーアップキャンペーン」に対する高い評価など、工学部もしくは各学科に向けた意見も多く、保護者の大学教育への高い関心を伺わせる。今後とも保護者とのきめ細かい情報交換が必要であると言える。